

第 2 回函館市交通安全対策会議会議録

開催日時	令和 3 年 1 1 月 1 1 日 (木) 午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 0 時 5 0 分
開催場所	函館市役所 7 階特別委員会室
議題	<p>(1) 函館市における令和 3 年の交通事故発生状況について</p> <p>(2) 函館市交通安全計画 2021 年度～2025 年度 (第 11 次) の策定について</p> <p>(3) その他</p>
出席者	<p>(1) 委員 (計 1 8 名)</p> <p>工藤会長, 畑山委員, 藤田委員, 菊池委員, 井田委員, 小原委員, 佐藤 (聖) 委員, 岡村委員, 小笠原委員, 辻委員, 小西委員, 佐藤 (市) 委員, 森委員, 木村委員</p> <p>河尻委員 (北海道運輸局函館運輸支局首席運輸企画専門官 六田氏代理出席) 村中委員 (北海道警察函館方面本部交通課課長補佐 菊地氏代理出席) 高田委員 (北海道函館方面函館中央警察署交通官 市川氏代理出席) 奈良委員 (北海道函館方面函館西警察署地域・交通官 熊谷氏代理出席)</p> <p>(2) 事務局 (計 6 名)</p> <p>市民部次長 鹿磯 洋子 市民部交通安全課長 佐藤 賢一 市民部交通安全課主査 唐神 勲 市民部交通安全課主査 湊 公宏 市民部交通安全課主任主事 海老名 祐次 市民部交通安全課交通安全推進員 増山 洋子</p> <p>(3) 傍聴者 (計 2 名)</p> <p>一般傍聴者 0 名 報道関係者 2 名</p>

会 議 内 容

開 会（午前10時00分）

【事務局】

ただ今から、函館市交通安全対策会議を開催いたします。
開会にあたり、会長から挨拶を申し上げます。

【会長】

おはようございます。皆様には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の函館市交通安全対策会議は、函館市における陸上交通の安全対策の大綱であります。函館市交通安全計画を決定しようとするものでございます。

本計画の策定にあたり委員の皆様には計画案の取りまとめに対しまして、多大なるご協力をいただきました。この場をお借りいたしまして、心から感謝を申し上げます。

本市の交通事故の発生状況であります。令和2年までは減少傾向が続いておりましたが、令和3年、今年は増加傾向にありまして、その中でも高齢者が犠牲となる事故が高い水準で推移しているなど、交通安全を取り巻く環境は、依然として厳しい状況でございます。

交通事故のない社会は、一朝一夕には実現できるものではありませんけれども、悲惨な交通事故の根絶に向けて、一層の対策を講じる必要があると考えております。

委員の皆様には、本日決定していただく交通安全計画に基づきまして、今後とも諸対策の推進に一層のお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

簡単でございますけれども、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。
本日は、よろしくお願いいたします。

【事務局】

それでは、早速議事に入らせていただきますが、議事の進行につきましては、引き続き、工藤市長にお願いしたいと存じます。

【会長】

それでは、議事の1番目になりますが、函館市における令和3年の交通事故の発生状況について、函館方面本部交通課の課長補佐であります菊地補佐がお見えでございますので、説明をよろしくお願いいたします。

【函館方面本部 菊地課長補佐】

私の方から函館市内の交通状況につきまして、簡単ではございますが説明させていただきます。まずはじめに、ただ今、市長からお話がありましたとおり、市内の交通事故の件数につきましては、本年と昨年を比較すると増加傾向にあります。

交通事故の発生件数および交通事故でお怪我をされた方、さらには交通事故でお亡くなりになられた方、全て昨年より本年は増加傾向でございます。

特にお亡くなりになられた方につきましては、10月末現在、6名で前年対比プラス3人、しかしながら、今月に入りましてもお一人お亡くなりになられ、現在7名の方が残念でございますが、交通事故でお亡くなりになっております。

事故の傾向といたしましては、日没後、歩行者が自動車に轢かれてしまいお亡くなりになる事故、また車でそのまま物等にぶつかってお亡くなりになる運転手さん、そうい

った事故が多い傾向にあります。

さらに、先ほども市長からお話がありましたとおり、本年は、特に高齢者の方がお亡くなりになっている傾向が昨年以上に高いところでございます。

しかしながら、自転車が絡む事故に目を向けてみますと、昨年とほぼ横ばいということで、函館市をはじめ関係機関の啓発やご協力によりまして、抑えられている傾向にあると思われまます。

昨今のコロナのご時世で、フードデリバリー事業に絡む自転車やバイクといった乗り物による宅配、こちらが増えている傾向にありますが、事故防止のために方面本部といたしましても、交通安全講習会等を事業者に対して行っております。

緊急事態宣言が終わりましたが、こういった事業者を使う方が、これからも増える傾向は変わらないと思いますので、こういった方々が絡む事故防止につきましても、今後一層、取り組んでいきたいと思ひます。

最後になりますが、今年、増加傾向にある交通事故、特に死亡事故を防ぐために、お車を運転する際、特に右側から渡ってくる歩行者に注意をしていただき、また、夜間、出歩く際は、できれば反射材等を付けていただきたい、この2点につきまして、もし皆様方、外等で機会があれば、お話をさせていただければ、今後、交通事故の減少につながると思ひますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

【会長】

どうもありがとうございました。この件について皆様から何か、ご発言ありますでしょうか。

ないようですので、次に、函館市交通安全計画の策定について、事務局から資料の説明をお願いします。

【事務局長】

(資料1～資料5について説明。)

【会長】

ただ今、事務局から説明がありましたけれども、委員の皆様からご意見、ご質問等ありますでしょうか。

【藤田委員】

第11次の計画ですけれど、その中で講じようとする主な施策の(4)冬季に係る道路交通の安全の中で、気象情報の充実を挙げていただきまして、今回は話題提供という形で、資料をご用意させていただきました、新しい雪の予報について、簡単に紹介したいと思ひます。

(「新しい雪の予報について」資料説明。)

【会長】

藤田委員から、冬の道路交通の安全に関わって気象情報等の充実についてのお話をいただきました。

先ほどの気象台の資料にもありましたように、平成30年1月、2月首都圏の大雪あるいは北陸地方の大雪、函館も平成30年、2018年ですけれども1月、2月は、観測史上最大の大雪ということで、ひどいことになりました。

その教訓をもとに、去年は早い段階から除雪をするようにしており、かなり機動的に除雪を行い、市民の皆様からあまりご批判はなかったところです。

今年も雪で通れないといった苦情がないよう、初動を早くやって欲しいと思います。そのほか、皆さんから何かご意見ありますでしょうか。

【森委員】

安全運転の確保にあたると思うんですが、当協会としての取り組みを若干ですが紹介させていただきたいと思います。バス協会、トラック協会、ハイヤー協会の運輸3団体におきまして、安全運転の競技大会を行っております。

それぞれの団体ごとに運転技術を競い合うというものでございまして、運転技術の向上ももちろんですが、安全の意識が高まっていると思っております。

バス協会の取り組みであります。10年以上行っておりますが、シートベルトの着用促進キャンペーンでございまして、これは貸切バスのお客様を中心に観光地で行っているということでございまして、バスに乗ったらシートベルトを締めましょうと、そんなリーフレットを使いながら進めているという取り組みでございまして。

これは今後とも続けていきたいと思っております。また、私ども函館バスの取り組みというか地域のご支援の話ですが、10月8日に東陣川バス停を地元企業の協力によって移動いたしました。

かねてから危険なバス停であったんですが、それを見ていた翔大鋼業様から敷地を提供していただきまして、森川組様からは、待合室も提供いただいたということでございまして、敷地の広い場所で乗降していただくという、非常に安全面が確保されたところでございます。

地元の企業の皆様に感謝を申し上げるほか、利用者が本当に喜んでいただいているということは、事故防止につながっているのではないかと思っております。

以上簡単にご紹介させていただきましたけれども、北海道におけるバスの第一当事者となる事故は減少傾向にあります。現在は、コロナ禍で、貸切バスは動いておりませんが、公共交通機関としての役割をしっかりと認識し、自覚をして事故防止活動に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

【会長】

バス事業者もコロナに加えて、燃料費も上がってきたことから大変だと思っておりますが、国等が支援策を考えてくれるといいと思っております。

ほかに皆様からありませんか。

【小笠原委員】

市電のほうでございまして、今後、秋から冬にかけていろいろ事故の可能性が高まる季節となってきております。

この11月で言いますと、街路樹の落ち葉、これが軌道上に降り積もることによって、落ち葉から出た油が軌道を変滑りやすくするというふうになります。

この予防策としては、焼き砂をまいて滑り止めをしていると、そしてこのあと雪の季節となってきますが、雪で滑るというよりは雪を解かすために道路にまかれた塩化カルシウムなどの融雪剤、これらが車輪を空転させる原因となっている現状にございまして、こちらのほうといたしましては、本日、新聞報道されましたがササラ電車であったり、委託における除雪、また焼き砂等の散布ということで事故を防止しているところでございます。

こうしたなか本日の議題となっております、第11次の函館市交通安全計画における軌道交通の安全についてでございまして、軌道や電路などの施設整備はもとより、軌道敷内における自動車事故防止のために、乗務員の教育やドライバーへの注意喚起

に引き続き取り組んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力のほどよろしく願いいたします。

【会長】

そのほか、皆さんから何かご意見、ご質問等ありませんでしょうか。

【函館方面本部 菊地課長補佐】

今回の計画におきまして、講じようとする主な施策の（２）の交通安全思想の普及徹底ということで、新規に横断歩行者の安全確保、反射材用品等の普及促進を入れていただき、誠にありがとうございます。

これに関連いたしまして、活動を紹介させていただきます。現在、函館市の協力のもと、市内の高校生、大学生と協力して、皆さんに使ってもらえる夜光反射材の開発を進めております。

これにつきましては、函館市の交通安全対策を担当する職員にも入っていただいて、今年度中に完成予定ということで計画を進めております。

完成の際には、お披露目等させていただきますので、この計画にも載っておりますとおり、反射材用品の普及促進のご協力をよろしくお願いいたします。

【会長】

ほかに何かございませんでしょうか。

ないようでございますので、先ほどご提案を申しあげました案を第11次の函館市交通安全計画として、決定させていただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

異議がないようですので、この計画に基づいて令和7年度までの5年間、本市の交通安全に関する諸施策を進めてまいります。

関係機関の皆さんには、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

次に、その他で皆さんから何かありましたらお願いいたします。

【函館方面本部 菊地課長補佐】

今年の9月に完成しました、歩車分離式信号機の関係で説明をさせていただきます。

本通3丁目の信号機改良につきまして、工業高校裏の交差点に全道初の3差路、歩車分離式信号機を設置しております。

こちらの交差点、2019年に事故が8件発生しておりまして、実は道内で4番目に事故が多発する交差点でした。今回、車両と歩行者の横断を完全に分ける道内初の交差点ということで、信号機の設置から1月以上経過しておりますが、昨日現在、事故等は1件も発生しておりません。設置して効果があったと思います。こちらにつきましては、関係機関の皆様方、委員のご協力のもと啓発等していただいたお陰と思っております。

本日、市長からも交通安全に対する強い思いを聞かせていただいております。

今後とも、交通事故防止のためにご理解とご協力をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

【会長】

どうもありがとうございました。先日、通りましたが大変良くなったと思っております。そのほか、何かありますでしょうか。

【岡村委員】

これまでの5か年計画において、どんな対策をしてきたかご紹介させていただきますと、ゾーン30、生活道路の車の時速を30キロに規制して、歩行者の安全を図る事業でございますけれども、減速を促す路面標示、標識の設置など行うもので、平成27年度から事業を始めております。

これまで柏野小学校、港小学校、中部小学校周辺において実施しておりまして、今年度におきましても亀田小学校、五稜郭中学校周辺で、警察をはじめ地域の方々、学校側と協議のうえ、路面標示や標識の設置など整備を行っておりまして、次期の計画におきましても、続けてまいりたいと考えております。

ほかに通過車両、歩行者が多い状況のなかで、歩道のない道路が結構ございます。

通学路対策といたしまして、歩道の設置を行っておりまして、この5年間におきましては、約30路線について、地域などからの要望を受けまして歩道の設置を行っているほか、幹線道路の交通安全対策の一環といたしまして、危険個所の交差点形状の悪い箇所につきましては、改善を図るような整備を実施してきているところでございます。

次期の計画におきましても、引き続き、各対策に向けて整備を行ってまいります。道路の整備につきましては、警察をはじめ関係機関の皆様と協議調整が必要となりますので、これまで同様、よろしくお願いたします。

【会長】

そのほか、ございませんでしょうか。

ないようですので、事務局から何かありますか。

【事務局長】

第11次函館市交通安全計画を決定していただき、誠にありがとうございました。

本計画につきましては、このあと、北海道知事に報告するほか、委員の皆様をはじめ、市議会民生常任委員会ならびに関係団体等にお配りするとともに、市のホームページでも公表し、広く交通安全の積極的な推進を図ってまいりたいと考えております。

【会長】

他にないようでございますので、これをもちまして、本日の函館市交通安全対策会議を閉会とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

閉 会（午前10時50分）